

テーマ：比べる


ねらい

- ① 2つ以上のものを比べて、結果を判断することができる。
- ② 類似点と相違点を理解することができる。

2つ以上のものを比べて判断する能力が必要です。
様々な観点から適切に判断できるよう促しましょう。


例1：生徒は2つのものを比べるときに、VOCAを使って「同じ」または「違う」と言います。

使用するVOCA：アイトークウィズレベル / トーキングブリックス



支援者はアイトークウィズレベル、または2つのトーキングブリックスに「同じ」と「違う」を録音し、それに合う絵記号（写真・シンボル）を貼り付けます。2つのものを見せて「これらは同じですか？違いますか？」と聞きます。


選択肢：特定の属性を選んで、同じかどうかを判断します。例えば「この色は同じ？違う？」など。




生徒はVOCAを使って、「同じ」または「違う」を選びます。

例2：生徒は複数のVOCAを使って、類似点と相違点を説明します。

使用するVOCA：スーパートーカー / クイックトーカー



支援者はスーパートーカーまたはクイックトーカーに「色」、「大きさ」、「形」、「同じ」、「違う」という単語を、対応する絵記号を付けて録音します。2つのもの、図形、写真を表示します。



属性を比べるには、属性と「同じ」、「違う」という単語を選びます。

ポイント



- ▶ 2つのものを比べることからはじめると分かりやすいです。
- ▶ 比べるものの数を増やすと難易度が上がります。
- ▶ 様々な属性を示して、類似点、相違点を選ぶことで、生徒の理解を図ることができます。